

令和 6年 2月 1日

関係教育研究機関の長 殿

熊本大学大学院人文社会科学部研究部長

大日方 信春 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

このたび、本研究部では下記により教員の公募をいたしますので、貴機関関係各位に周知方よろしくお取り計らいますようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名・人員 教授または准教授 1名
2. 所属 熊本大学大学院人文社会科学部 言語・情報学分野
3. 研究分野 応用言語学 (英語教育学および関連分野)
4. 担当業務 文学部コミュニケーション情報学科・大学院社会文化科学教育部博士前期課程英語教育専門職コース・博士後期課程英語教授学領域における専門科目、教養英語科目、研究指導 (卒業論文、修士論文、博士論文指導) 及び大学の運営に関わる業務 (社会貢献、入試を含む)
5. 採用年月日 令和6年10月1日以降のできるだけ早い時期
6. 応募資格 下記の条件を満たすこと。
  - ①博士の学位または同等の研究業績を有すること。
  - ②査読論文を含む5本以上の学術論文、学術的著述を有すること。
  - ③本学における教育、研究に熱意をもって取り組めること。
  - ④本学の運営等に協力的かつ積極的に参画できること。
  - ⑤科学研究費補助金などの外部資金の獲得に積極的なこと。
7. 提出書類 (以下の①~⑤はいずれも様式を問いません。)
  - ①履歴書: 原本1部  
(様式あり。顔写真貼付、連絡先住所、電話・e-mailアドレスを含み、学歴と教育歴はそれぞれ分けて記載してください。所属学会はすべて記載してください。男女を問わず、出産、育児、介護に専念 (あるいは従事) した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。)
  - ②論文等業績リスト: 原本1部  
(全業績について題目・発表年月日・掲載誌名・巻号数・頁数・単著共著の別・査読の有無等を記載し、主論文とすべき業績1篇に◎、副論文とすべき1篇に○印を付けてください。刊行されていない学位論文は主・副論文に指定できません。共著の業績の場合は、担当内容を明示してください。)
  - ③主論文及び副論文の別刷 (コピーも可) とその要旨 (各1000字以内): 各6部

- ④これまでの研究・教育等の活動の概要（研究について1,000字以内、教育について1,000字内）：各6部
- ⑤採用後の研究・教育等の活動計画の概要（研究について1,000字以内、教育について1,000字内）：各6部
8. 提出方法
- ①簡易書留又は宅配便で一括郵送
- ②封筒等に「大学院人文社会科学研究部言語・情報学分野教員公募書類在中」と朱書き  
(提出書類は返却しません。著書は希望があれば、着払いにて返却します。)
9. 提出先
- 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1  
熊本大学大学院人文社会科学研究部長 大日方 信春
10. 提出期限
- 令和6年4月1日(月)午後5時までに必着
11. 選考等
- 一次選考：書類選考  
二次選考：面接選考  
(面接選考の場所・時間等の詳細は、別途お知らせします。)
12. 労働条件等
- 勤務形態：専門業務型裁量労働制  
(勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす)
- 任期の定め：なし
- 試用期間：6か月
- 勤務場所：熊本大学黒髪キャンパス
- 時間外労働：時間外、深夜、休日労働の有無 有
- 賃金等：国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- 社会保険：文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- 雇用者：国立大学法人熊本大学
13. 問合せ先
- 雇用条件：熊本大学人社・教育系事務課文学系総務担当  
e-mail：jsj-somu¥jimu.kumamoto-u.ac.jp  
(e-mail アドレスの¥を@に変えて送信してください。)
- 専門分野等：熊本大学大学院人文社会科学研究部言語・情報学分野長 児玉 望  
e-mail：kodama¥gpo.kumamoto-u.ac.jp  
(e-mail アドレスの¥を@に変えて送信してください。)
14. その他
- ① 応募書類に含まれる個人情報は、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。なお、応募書類及び提出物は返却いたしません。
- ② 選考にあたっては、男女共同参画社会基本法の精神に則り、適正に行います。
- ③ 熊本大学はダイバーシティを推進しています。詳細はホームページをご覧ください。  
[http://gender.kumamoto-u.ac.jp/activities/kihon\\_keikaku.html](http://gender.kumamoto-u.ac.jp/activities/kihon_keikaku.html)